

No.147 (Vol.10 No.02)

marie claire

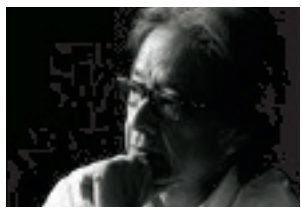
marieclairestyle.jp

Style
25th March, 2021

Forever & Ever

永遠に色褪せない美しさ

本サービスを利用した営利目的の活動行為、
あるいは本サービスを通じて入手した情報を
複製、販売、出版その他
私的利用の範囲を超えて使用する行為の
一切を禁止します。



Welcome to marie claire style vol.147

『marie claire style』で2019年8月に発行された号から10回にわたり連載された相川圭子さんの『「マインドフルネス」への道」というコラムを覚えていらっしゃるでしょうか？

3月10日に中央公論新社からこの連載に加筆した単行本『心と体をととのえて、もっと楽に生きる』が、発売されました。

現代はとても複雑な時代です。多くの人々が競争社会に疲れ、瞑想やヨガをすることで心の安定を求めています。

そうした流れの中で、欧米を中心に「マインドフルネス」という言葉がよく使われるようになりました。日本でもリラクゼーション法として数年前に紹介され、広まりつつある言葉です。この言葉は、もともとは仏教の「禅」を起源にし、さらにさかのぼれば、ヒマラヤ秘教に行きつくと言われていています。

「今この瞬間に意識を向ける」「ジャッジ(判断)をせず、とらわれのない心で、ただ観る」状態が、マインドフルネスです。わかりやすく言うと心が平和で、リラックスしている状態のことです。

この新刊では、少しでもマインドフルネスの状態に近づくために、今を生きる人たちの悩みについて、相川さんの考え方がわかりやすく綴られています。

「コロナへの不安」「差別する心」「病気にならない生き方」「何歳まで働くべきか」など、いま人々の目の前にある悩みに、Q&A形式で相川さんが回答しています。

相川さんは苗字の上にヨガマタという尊称が付く、女性ではじめて“究極の悟り”に達したヒマラヤ大聖者の一人です。つまり、5000年の伝統をもつヒマラヤ秘教の正当な継承者でもあります。日本だけでなく欧米でも研修や瞑想合宿などを行い、インド政府の全面的なバックアップのもと、平和の祭典「ワールドピース・キャンペーン・アワード」なども主催しています。また国連の平和のためのイベントでも、これまでに3度スピーチを行っています。人間の幸せを一生かけて思索する道を選んだ女性の、厳しくも優しい気持ちに触れられる本でもあると思っています。ぜひ手に取ってみてください。

さて、もうひとつお知らせです。

創刊時から『marie claire style』のアートディレクターを務めている木村裕治さんの、日本では初めての個展が、3月23日から4月24日まで銀座のクリエイションギャラリーG8で開かれています。木村さんは同じく中央公論新社から発行されている『婦人公論』のアートディレクターでもあり、エディトリアルデザイナーとして日本でトップの一人です。

個展のタイトルは「落穂を拾う」。バルビゾン派の巨匠ミレーの作品名に絡めてのタイトルだと思いますが、木村さんが収集してきたものを「落穂」と称して、その「落穂」から、これまでの仕事や木村さんを形作ってきたものを検証してみるという展覧会です。

ぜひ銀座に足を運んでいただければと思います。

最後になりましたが、『marie claire style』は4月発行号から「style」の文字を取り『marie claire』となり、読売新聞東京本社から発行されることになりました。ファッションや美容だけでなく、大きな意味でのライフスタイルも主要なテーマとして取り上げていく予定です。これからもどうぞ、よろしくお願いいたします。

2021年3月25日

田居克人

Katsuto Tai, marie claire style 編集長



『心と体をととのえて、もっと楽に生きる』
¥1,430

©CHUOKORON-SHINSHA, INC.

Contents

- 5 Welcome to marie claire style /
- 6 Cover Story: Kate Winslet /
- 9 Style Picks: Sporty Chic /
- 10 LONGINES /
- 11 Style Picks: Lacework /
- 12 CHANEL /
- 14 LOUIS VUITTON /
- 16 Dior Maison, Saint Laurent, GRIMA LONDON /
- 17 +J /
- 18 forte_forte /
- 19 Like Bare Skin /
- 22 Art & Technology: Rhizomatiks /
- 23 Art: Hiroka Yamashita, shop list

cover

photo: PAOLA KUDACKI/
Trunk Archive/AFLO
model: Kate Winslet

marie claire style

2021年3月25日発行 第10巻 第2号 (通巻第147号)

発行人 Publisher:
松田陽三 Yozo Matsuda

編集長 Editor in Chief:
田居克人 Katsuto Tai

アートディレクター Art Director:
木村裕治 Yuji Kimura

クリエイティブディレクター Creative Director:
菊池直子 Naoko Kikuchi

広告担当部長 Advertising Manager:
斉賀明宏 Akihiro Saiga

編集部 Editorial Team:
大林理子 Riko Obayashi
高波麻奈美 Manami Takanami
伊藤寛子 Hiroko Ito
菊池美裕紀 Miyuki Kikuchi
阿部未祐加 Miyuka Abe
柳澤梨奈 Rina Yanagisawa

パリ特派員 Paris Correspondent:
須山佳子 Keiko Suyama

デザイン Design:
木村裕治 Yuji Kimura
佐藤 幹 Miki Sato

発行 Publication:
中央公論新社
〒100-8152 東京都千代田区大手町1-7-1
編集・広告 tel: 03-5299-1810
CHUOKORON-SHINSHA, INC.
1-7-1, Otomachi, Chiyoda-ku,
Tokyo 100-8152 Japan

印刷 Printing:
共同印刷
KYODO PRINTING CO., LTD.

MARIE CLAIRE INTERNATIONAL

Executive director:
Jean de Boisdeffre
Deputy director:
Félix Droissart
Deputy director (marketing and special operations):
Nicia Rodwell
International editorial director:
Séverine Harzo
International fashion and beauty chief editor:
Sylvie Halic
International commercial director:
Elodie Bretaudeau Fontailles
International deputy commercial director:
Elisabeth Barbier
Syndication director:
Thierry Lamarre

©MARIE CLAIRE ALBUM 2021
©CHUOKORON-SHINSHA, INC. 2021
本誌掲載の記事・写真、イラストの無断転載を禁じます。
※本紙に掲載されている商品の価格は
特記されている場合をのぞき、すべて税込価格です。

牡羊座aries3月21日→4月19日★楽しむ時。今の時に集中して。余計なものは一度手放し、自分が心から楽しめるよう、今やりたいことをしましょう。楽しむこそ、未来の豊かな自分に繋がるのです。

design: Yuji Kimura (Kimura Design Office, Inc.)



展覧会告知ポスター

木村裕治展「落穂を拾う」
会期: ~4月24日(土)
会場: クリエイションギャラリーG8
<http://rcc.recruit.co.jp/g8/exhibition/2103/2103.html>

Kate Winslet

実力派女優ケイト・ウィンスレットが挑む新境地

Cover Story
photo: ©LONGINES (P.6)
text: Masami Shimura

1994年に『乙女の祈り』で鮮烈な映画デビューを飾ったのち、25年以上にわたって着実にキャリアを積み重ねてきた女優ケイト・ウィンスレット。『タイタニック』のヒロインで注目を集め、これまでアカデミー賞に7度ノミネート、『愛を読むひと』では見事アカデミー賞主演女優賞に輝き、世界中の映画ファンからも信頼は厚い。そんなケイトが「私にとっても新境地だった」と語るのが、最新作『アンモナイトの目覚め』。40代半ばに差しかかり、強さと美しさに磨きのかかった彼女の魅力に迫る。



『アンモナイトの目覚め』
4月9日(金)、TOHOシネマズ シャンテほか全国順次ロードショー
監督・脚本: フランシス・リー
出演: ケイト・ウィンスレット、シアーシャ・ローナン
配給: キヤガ
©2020 The British Film Institute,
British Broadcasting Corporation & Fossil Films Limited
gaga.ne.jp/ammonite

イギリスが誇る実力派として、各国の名匠たちから愛され続けているケイト・ウィンスレット。4月9日より日本で公開される映画『アンモナイトの目覚め』では、円熟味を増した秀逸な演技で観る者を魅了する。演じているのは、19世紀にイギリス南西部にある海辺の町に実在した古生物学者のメアリー・アニング。かつては化石の大発見により一世を風靡するものの、社会的地位と性別が原因で世間から忘れ去られてしまった女性だ。脚本を読み、この役を演じることを熱望したケイトは、その魅力についてこう語る。

「メアリーは貧しい家庭に生まれ、男性優位の階級社会から疎外されて生きてきたの。発掘した多くの化石も同僚の男性たちに手柄を横取りされていけれど、彼女は意志が強く、頑固だったので、自分を見失うことは一度もなかった。好奇心が旺盛で、博識だったからこそ、すべてを独学で習得し、そして生涯学び続けたのよ。私はそういう彼女を心から尊敬するわ。そんなふうに、社会の常識を破ろうとする役に私は惹かれる傾向があるの」

徹底したリサーチと緻密な役作りをする過程で、ケイトはメアリーの物語を今の時代に伝える意義についても痛感したという。

「長い間、私たち女性は批判の対象だったし、今でもそれは続いている。でも、歴史に名を刻んだ偉大な女性の例を挙げれば挙げるほど、女性たちのお互いを助け合おうという気持ちが湧き起こり、結束力が強くなっていく。だから、#MeTooから始まった最近の運動は、この上なく素晴らしい傾向だと思うわ。メアリーのような存在がいるからこそ、私たち女性は自分の真の声に従おうという気になるの。今、女性の歴史は変わろうとしているのよ」

劇中、ケイトが演じるメアリーは裕福な化石収集家の妻シャーロットと出会う。正反対の2人だったが、化石発掘をしながら次第に惹かれあっていく。ケイトはシャーロット役の女優シアーシャ・

ローナンとともに、そんな女性同士の心を揺さぶる激しい恋愛関係にも体当たりで挑んだ。そのなかで、さまざまな気づきを得られたと振り返る。

「シアーシャと親密なシーンを撮影しているとき、彼女と完全に対等になった瞬間に興味深い発見があった。それは、これまでの自分は男性の共演者に対して対等だと思っていなかったということ。『なぜもっと前に気づかなかったんだろう』とか『なぜ男性に対して対等だと思えなかったんだろう』って頭にきたわ。でも、それが社会の現実なんだと思う。だからこそ、私たち女性は男性と対等になる権利があるんだと声を上げなければならぬの。いまだかつてないほど社会の常識を覆す女性の物語を伝える重要性を強く感じているわ」

そのなかでも、偽りなく誠実に伝えていくことが大事だと話すケイトは、さらにこう付け加える。

「女性の声を誇り高く届ける運動に欠かせないのが映画作り。その一員になれることをとても幸せに感じているの。私は女性であることで多くのことを学んできたし、いつも両方の足をしっかりと地につけて自分の意思を表現してきたけれど、まだ出発地点に立ったにすぎないと思うわ」

映画の持つ力を信じ、女優として自らができることを追求し続けているケイトだからこそ、人々を惹きつけてやまないのだろう。自身のキャリアにおいても大きな意味を持った本作を通して、観客にも感じ取ってほしいことがあると訴える。

「メアリーは従順なタイプではないし、誰かに支配されることもない。そして、自分の存在を否定することも一切ない。でも、女性みんなが彼女のような側面を持つべきだと思うの。私自身も、今まで経験したことがないほど役からインスピレーションをもらったわ。出身や生まれた家庭にかかわらず、誰しもが限らない可能性を秘めているということを感じてみたい。自分の心に従い、自分の声を使って自分自身の道を歩むことが、何よりもこの世で大切なことだから」



オスカー女優として世界的な人気を誇るケイト・ウィンスレットは、現在、スイスの名門時計ブランド「ロンジン」のアンバサダーも務めている。彼女が設立した自閉症の子供を支える非営利団体「ゴールドンハット財団」に、「ロンジン」は2015年から支援を行っている。3人の子供の母としても豊かな人生を送り、気品溢れる美しさに満ちたケイト。そんな彼女の手元を、タイムレスなエレガンスを語る「ロンジン」のアイコンウォッチが優美に引き立てる。時計「ラ グラン クラシック ドゥ ロンジン」¥174,900(ロンジン)



1

©STUDIO DES FLEURS



2



10



9



©DOLCE&GABBANA

3



8



©PRADA



4



5



7



6

〈人物・左〉Celine アウター¥203,500
 パンツ¥104,500
 キャップ¥49,500 [参考色]
 バッグ¥335,500 [参考色]
 [その他すべて参考商品]
 (すべてセリーヌ バイ エディ・スリマン/
 セリーヌ ジャパン)
 〈人物・中〉Louis Vuitton アウター¥704,000
 [ベルト付き]
 [その他すべて参考商品]
 (ルイ・ヴィトン/ルイ・ヴィトン クライアントサービス)
 〈人物・右〉Prada フーディー¥203,500
 スカート¥280,500 インナー¥77,000
 [すべて予定価格] [その他すべて参考商品]
 (すべてプラダ/プラダ クライアントサービス)

Sporty Chic

最旬スポーティスタイルは足元から軽快に!

Style Picks

text: Tomoko Kawakami

今春はカジュアル感を抑えたシックなスポーティスタイルが新鮮。
 モードなスニーカーやミニマルなフラットサンダルを合わせた、ストレスフリーで洗練されたスタイルにトライ。

1.Hermès Hが映えるマルチカラーのレザーで表現した“ブーメラン”。オレンジのアウトソールも印象的。スニーカー¥118,800(エルメス/エルメスジャパン) 2.Chanel ブラックとゴールドのコンビがとびきりシック。グラフィカルなデザインで足元からモダンに仕上げた。サンダル¥111,100(シャネル/シャネル カスタマーケア) 3.Dolce&Gabbana 存在感立つ新作はハンドペイントで描いたロゴや多彩なラインがアイキャッチ。スニーカー¥110,000(ドルチェ&ガッパナ/ドルチェ&ガッパナ ジャパン) 4.Stella McCartney 接着剤を使用せずフックとステッチでアッパーとソールを接合するなどサステナビリティマインドが詰まった1足。スニーカー¥70,400(ステラ マッカートニー/ステラ マッカートニー カスタマーサービス) 5.Christian Louboutin サメの歯を想起させるパンチのきいたソールと粋な配色でインパクト大。スニーカー¥119,900(クリスチャン ルブタン/クリスチャン ルブタン ジャパン) 6.Balenciaga コンフォートなサンダルはチャンキーなソールをプラスして、ぐっとモードな表情に。サンダル¥91,300(バレンシアガ/バレンシアガ クライアントサービス) 7.Dior 話題の新作“DIOR-ID”のスニーカーはメゾンが誇る巧みな技術と現代的でシックなデザインが見事にマッチ。スニーカー¥135,300(ディオール/クリスチャン ディオール) 8.Burberry ブラックのスムースレザーにゴールドの金具がアクセント。ライニングにはヴィンテージチェックを配して。サンダル¥88,000[予定価格](バーバリー/バーバリー・ジャパン) 9.Saint Laurent ミニマルなデザインこそ、ときめく色で遊び心を。スニーカー[H2]¥82,500(サンローラン バイ アンソニー・ヴァカレロ/サンローラン クライアントサービス) 10.Fendi ストレッチレースを手で編み込んだ素材を用いたアッパーが足を優しくホールド。FFモチーフが並ぶソールにも注目。サンダル¥95,700(フェンディ/フェンディ ジャパン)

LONGINES

新しい季節をフレッシュに彩る 「ロンジン」のホワイトウォッチ

1832年に創業し、スイスを代表する
老舗ウォッチブランドのひとつ「ロンジン」が、
ホワイトカラーのアイコンモデルを揃えた
キャンペーン“ホワイトワンダーズ”を開催。
この春は洗練の白を手元にプラスして
軽やかにアップデート!

photo: Hisashi Ogawa
SS=ステンレススティール



WHITE
WONDERS

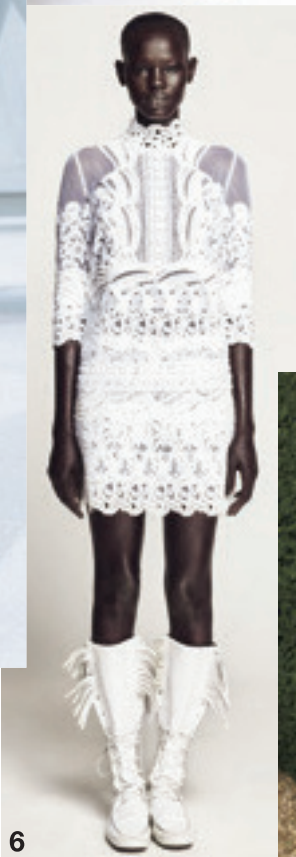
自分らしい個性を輝かせる 表情豊かな白

レクタンギュラーケースの“ドルチェヴィータ”やラグが特徴的な“ラ
グラン クラシック”など、ブランドのアイコンシリーズ。自然の魅惑
的な美しさや独特の質感が、白のテクスチャーやデザインで表現
された3本に注目。時計(左から)本格的な機能を備えながら、女
性らしいエレガントなサイズ感が魅力。インナーベゼルと文字盤の
ホワイトマザーオブパールが華やか。“ロンジン レジェンドダイバー”
[SS、レザーストラップ、ケース径36mm、自動巻き] ¥279,400 ダ
イヤモンドの輝きが際立つスタイリッシュなレクタンギュラーケー
スが印象的。“ロンジン ドルチェヴィータ” [SS×ダイヤモンド、レザ
ーストラップ(インターチェンジ可能)、ケース径20.80×32mm、クオー
ーツ] ¥404,800 薄型のケースとミニマルなデザインに女性らしさ
の薫る白が好相性。“ラ グラン クラシック ドゥ ロンジン” [SS、レ
ザーストラップ、ケース径29mm、クオーーツ] ¥191,400(すべてロン
ジン)

news “ホワイトワンダーズ” キャンペーン開催

4/25(日)まで、全国のロンジン正規取扱
店舗で“ホワイト ワンダーズ”対象商品
をお買い上げの方に、「ロンジン」オリジナル
グッズをプレゼント。新しいウォッチを探して
いる方は、ぜひこの機会をお見逃しなく。

蟹座 Cancer 6月22日~7月22日★自信が溢れる時、自信とは自分の感性に信頼を寄せると。すべからずまわっているような感覚を覚え、あなたの感性や能力はますます花開きます。自分のことをもっと信頼して大丈夫です。



Lacework

春風になびくレースに魅せられて

Style Picks
text: Tomoko Kawakami

今季の狙い目、甘さを抑えた大人のレースは、ミニマルなシルエットやレイヤードでモダンに仕上げるのがポイント。

クチュールライクなテクニックが凝縮された1着を長く愛用して。

- 1.Kenzo 繊細なレースとパンチのあるフィッシュネットをミックス。肌が映くカットワークも旬のディテール。ドレス¥107,800 ジャンプスーツ¥74,800[参考価格](ともにケンゾー/ケンゾーパリ ジャパン) 2.Dior ロマンティックなフラワーモチーフを繊細なレ
ースで表現。レザービストゥで辛口に。ビスチェ¥308,000 ブラウス[参考商品] ショーツ¥121,000(すべてディオール/クリスチャン ディオール) 3.Fendi 淡いブルーと繊細な刺繍が美しいハーモニーを奏でる。透け感に宿る開放感と端正な佇まいで
大人の可憐さを引き立てて。ドレス¥668,800[付属のインナーがハイネックに仕様変更](フェンディ/フェンディ ジャパン) 4.Chloé トップ部分に透け感を持たせたロングドレスは縦のラインを強調したリラックスシルエットが旬。ドレス¥332,200(クローエ/ク
ロエ カスタマーリレーションズ) 5.Stella McCartney 表情の異なるレースのミックス&マッチを楽しんで。ドレス[参考商品] サンドル¥39,600(ともにステラ マッカートニー カスタマーサービス) 6.Ermanno Scervino ドラマティ
ックでリュクスな存在感を纏った心躍る1着。美しい刺繍が描き出す立体的なシルエットを堪能したい。ドレス¥431,200 フーツ¥426,800(ともにエルマンノ シェルヴィノ/ワールド商会) 7.Chanel アイコニックなジャケットもカットワークでモダンに。ジャ
ケット¥781,000 ドレス¥1,071,400 サンドル¥129,800(すべてシャネル/シャネル カスタマーケア) 8.Valentino フェミニンな花柄レースとイエローカラーの組み合わせがモダンなムードを演出。ジャンプスーツ¥605,000(ヴァレンティノ/ヴァレンテ
ィノ インフォメーションデスク) 9.Loewe 繊細なカットワークを施した生地を機重にもレイヤード。爽やかでアーティなムードが漂うルック。[すべて参考商品](ロエベ/ロエベ ジャパン クライアントサービス)

marieclairestyle.jp

獅子座 Leo 7月23日~8月22日★愛に優しく包まれる時、自分の好きなように選択して、それがあなたの持つ自由の感覚です。あなたは愛に包まれています。愛や自由は無条件、そのまま愛される存在なのです。

Interview

「シャネル」の新たな歴史を刻む
「コレクション N°5」



Frédéric Grangié フレデリック グランジエ
シャネル 時計・宝飾部門社長。1969年10月9日フランス生まれ。92年にInstitut Supérieur de Marketing du Luxeを卒業後、21年間LVMHグループに勤務。2016年7月より現職。

Q. なぜシャネル「N°5」に焦点を当てたヘリテージピースを創ろうと思ったのですか？

この「55.55」ネックレスをデザインし、形にすることが、シャネル ファイン ジュエリーの歴史において、決定的かつ重要な一歩となるからです。このネックレスは販売して誰かの手に渡るのではなく、ジュエリーのアトリエもあるヴァンドーム広場18番地にアーカイブとして収蔵されます。世界各地のイベントで、お客さまやメディアに向けて特別に展示されることもあり、ヴァンドーム広場と「N°5」の確かな繋がりの象徴として、永遠に語り継がれる存在です。

Q. この唯一無二のクリエイションを通して伝えたいメッセージは？

ガブリエル シャネルは、1932年に初めて唯一のハイジュエリー コレクション「ダイヤモンド ジュエリー」を創り出し、それまでのジュエリーの常識を一変させました。その素晴らしい作品に加え、ひとりの女性ファッションデザイナーが、閉鎖的で男性的なヴァンドーム広場の宝飾業界に飛び込んだという事実そのものも革命的でした。メゾンは常に、ガブリエル シャネルの才能や先見性、大胆さに敬意を表しています。そして歴史に忠実でありつつ、それをより豊かにし、最大限にクリエイティブで自由な未来に繋げていくことに全力を注いでいます。この「55.55」ネックレスは、彼女から継承されたクリエイションが今までも、そしてこれからもメゾンの真髄であり続けることを証明するものです。ダイヤモンドの原石から着手したのは、最大の石を得るためではありません。世界一有名な香水を象徴する、55.55カラットの完璧な八角形のダイヤモンドを手に入れるためです。

Q. 全123ピースのコレクションで表現したことは？

香水にちなんだ初めての、そして唯一のハイジュエリー「コレクション N°5」は、これまで手掛けてきた中で最も点数の多いコレクションです。123ピースからなるハイジュエリーには、「N°5」の個性を形成するすべてのエレメントが反映されています。「ボトル」の形状、「残り香」、八角形の「ボトルストッパー」、そして「5」という数字や、香りの中核をなす「花」……。香水の色彩はイエローや琥珀色、ピンクの宝石が美しくグラデーションで豊かに表現されています。

Q. 「55.55」ネックレスの全制作過程に立ち会われたそうですが、最も特別な瞬間はいつでしたか？

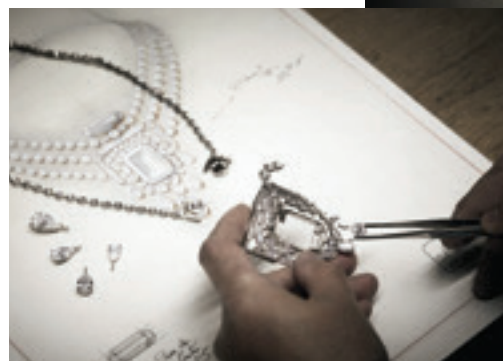
2年以上にわたる冒険のようなネックレス制作という物語の中で、感動的な瞬間は3度ありました。1度目はクリエイション スタジオ デイレクターのバトリス ルゲローがデザイン画を見せてくれ、夢が現実化し始めたとき。2度目はダイヤモンドの原石と出会い、象徴的な55.55カラットのダイヤモンドを手にするために、カットを決意したとき。そして3度目は仕上がったネックレスを見たときです。アトリエスタッフの熱意と唯一無二のサヴォアフェールが、このプロジェクトを成功に導いたのです。

Q. 「コレクション N°5」を構成する5つのキーワードを挙げてください。

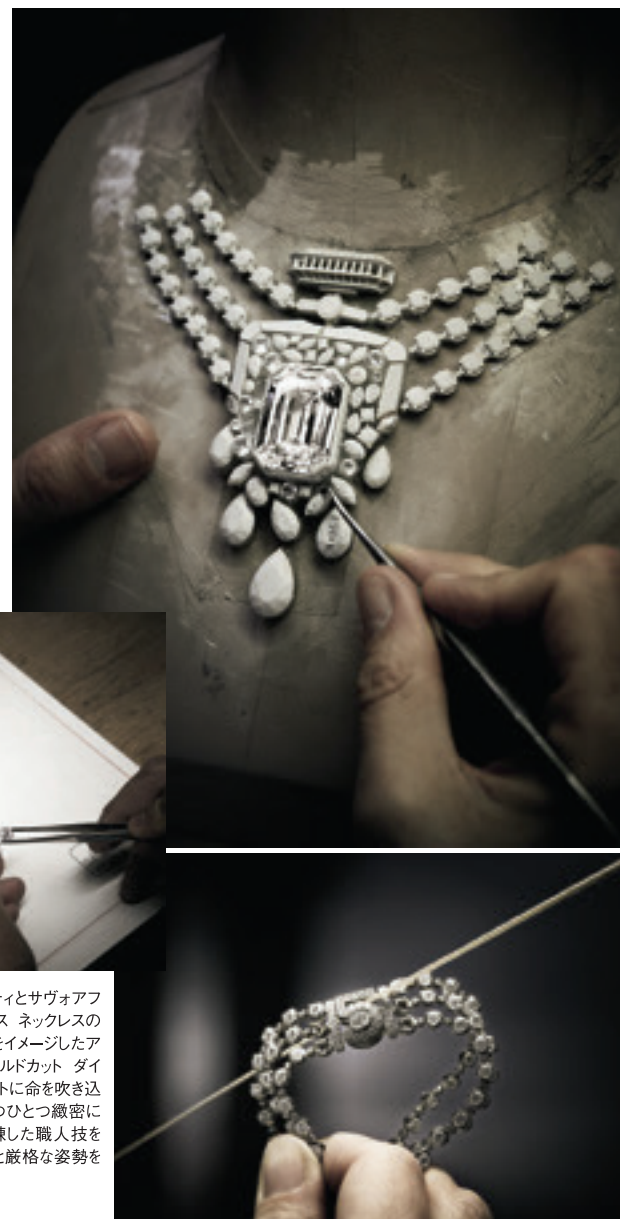
1つ目のキーワードは「シャネル」……。シャネルというメゾンだけが、世界一有名な香水に捧げるハイジュエリー コレクションを創造することができるから。2つ目は「クリエイション」……。「55.55」ネックレスを含む本コレクションが、ハイジュエリーにおけるメゾンのクリエイティブな本質を体現するから。3つ目は「サヴォアフェール」……。メゾンのクリエイションの素晴らしさは、サヴォアフェールの賜物だから。4つ目は「幸運のお守り」……。5はガブリエル シャネルが好んだラッキーナンバーであり、メゾンのお守りだから。最後に5つ目のキーワードとして、1932年にガブリエル シャネルが残した言葉を引用します。「私を作るジュエリーは、常に女性の気持ちやドレスに寄り添うものです」

Making

匠の技を凝縮した
究極のジュエリー
メイキング



シャネルならではのクリエイティブとサヴォアフェールが凝縮されたヘリテージピース。ネックレスのメイキングシーン。ボトルストッパーをイメージしたアイコン的な55.55カラットのエメラルドカット ダイヤモンドを中心に、ボトルのシルエットに命を吹き込むため、ダイヤモンドの位置をひとつひとつ緻密に調整。すべての工程において熟練した職人技を追求し、完璧主義なメゾンの精神と厳格な姿勢を反映している



History

新たな時代の扉を開いた
伝説の名香



© Ministère de la Culture - Médiathèque du Patrimoine, Dist. RMN-Grand Palais / François Kollar

一世紀にわたって愛されている「N°5」は、「女性そのものを感じさせる、女性のための香り」として、マダムアゼル シャネルが調香師エルネスト ボーとともに発表した初の香水。複雑に構成された現代性を纏う香り、シンプルなボトル、神秘性を秘めた数字の名称……。すべてにおいて革新的だった「N°5」は、発売とともに大反響を呼び、香りの歴史を変えた。なおマダムアゼルは1937年、「N°5」こそ自身を表現する香り」として、米版「ハーバースバザー」誌の広告ビジュアルにも登場している

© CHANEL

CHANEL

唯一無二の香水「シャネル N°5」
100周年を祝したハイジュエリー コレクション誕生



シャネルのアイコンとして輝き続ける
伝説の名香「N°5」の誕生100周年を記念し、
123ピースからなる圧巻のハイジュエリー
「コレクション N°5」が登場。華々しいメモリアルイヤーの
幕開けを飾った、55.55カラットのダイヤモンド ネックレスの
壮麗な美しさに迫る。

photos: ©CHANEL / text: Makiko Awata

「シャネル」の歴史を語る上で欠かせない存在である香水「N°5」に捧げる初のハイジュエリーとして、前例のない規模で展開される「コレクション N°5」。セレブレーションのトップを飾った「55.55」という名のネックレスは、この壮大なコレクションを象徴する存在として、「N°5」のすべてのコードが、そのダイヤモンドの煌めきの中に表現された。まず、ダイヤモンドの原石をシンボリックな「55.55カラット」の完璧な八角形へとカスタムカット。そのグラフィカルな形状は「N°5」のボトルストッパー、そしてパリ・ヴァンドーム広場に着想を得たもので、メゾンの歴史の中でも重要な意味を持つモチーフのひとつとして有名だ。さらにエメラルドカットのダイヤモンドの周囲を取り巻くように、バゲットカットやラウンドカットのダイヤモンドをセッティ、「香りの代名詞」として世界一有名な香水ボトルのシルエットを描き出した。ひとつずつカットされた異なるサイズのペアシェイプ ダイヤモンドは、センチュアルに香り立つ液体のようにカスケード状に飾られ、崇高なオーラを放っている。さらにクラスプには、マダムアゼル シャネルのラッキーナンバーであり、香水の名称である5の数字が、遊び心たっぷりのエンブレムとしてあしらわれた。マダムアゼル シャネルが1921年に生み出した初の香水、「N°5」。そして1932年に発表した生涯で唯一のハイジュエリー コレクション「ダイヤモンド ジュエリー」。それぞれの業界の常識を一新したとされる2つの革命的な世界観を融合し、マダムアゼルの自由で大胆な精神とビジョン、そしてエターナルなクリエイションに賛辞を贈る「55.55」ネックレス。この上なくしなやかに魅惑的なジュエリーは、究極のアーカイブピースとして、ファイン ジュエリー本店のあるヴァンドーム広場18番地に収蔵され、シャネルのハイジュエリーの歴史を永遠に輝かせ続ける。ネックレス「55.55」[ホワイトゴールド×ダイヤモンド(センターダイヤモンド55.55カラット、D FL type 2Aという稀少なダイヤモンド)](非売品)

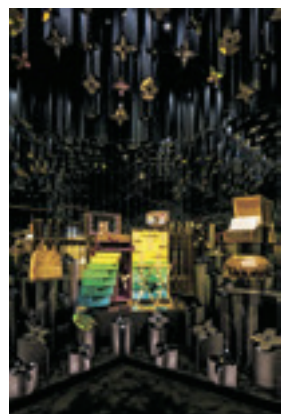
Exhibition コラボレーションの 歴史をめぐる エキシビション 「LOUIS VUITTON &」



exhibition data
LOUIS VUITTON &
 会期: 3月19日(金)~5月16日(日) 予定
 場所: 東京都渋谷区神宮前6-35-6 jing
 時間: 10:00~20:00(最終入場19:30)
 入場料無料
 公式サイト(www.louisvuitton.com)より要事前予約

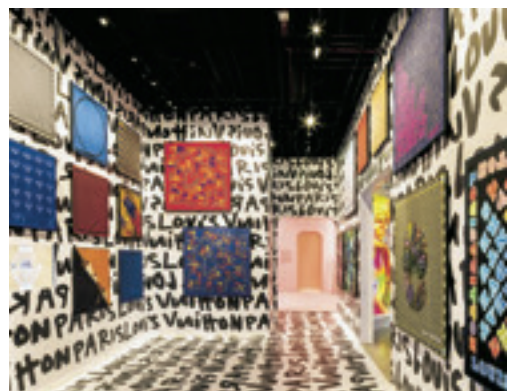
クリエイティブな交流やアーティスト
 ィックなコラボレーションを重ねてきた
 「ルイ・ヴィトン」の160余年におよぶ歴史
 を辿る旅を紹介するエキシビション「LO
 UIS VUITTON &」が5月16日(日)まで
 東京・原宿の「jing」で開催されている。

展覧会では、先見性に富んだ日本の
 アーティストたちとメゾンの間で絶えず



育まれてきた敬意とイン
 スピレーションの歴史にフォーカス。山本
 寛斎、藤原ヒロシ(Fra
 gment Design)、草間
 彌生、NIGO®をはじめとする、日本の数多
 くの著名アーティスト
 や国際的に活躍する
 パーソナリティたちと
 のコラボレーションを
 一堂で紹介することが、主要テーマの一
 つになっている。

10の没入型スペースで構成された会



Limited Item 併設ギフトショップで手に入れる キュートな限定オーナメント

会場では建築家・菅原大輔のデザインによるカラフルなギフトショップ
 が併設され、モノグラム・フラワーをあしらったライオンモチーフの限定
 オーナメントも登場。ライトブルー、オレンジ、ピンク、フューシャの4色展
 開。オーナメント「ベチュラ ミニ」[W7×H10×D8] 各¥126,500(すべ
 てルイ・ヴィトン/ルイ・ヴィトン クライアントサービス)



場には、20世紀初頭に製作された特注
 トランクやルイ・ヴィトンの孫であるガスト
 ンルイ・ヴィトンがデザインした美しいウ
 インドウ・ディスプレイなど、歴史を辿る
 貴重なアーカイブを展示。また、カール
 ラガーフェルド、シンディ・シャーマン、川
 久保玲、フランク・ゲーリーといった現代
 を代表するクリエイターによるアイコニ
 ックな「モノグラム」を再解釈したバッグ
 や、磯崎新、リチャード・プリンス、ザハ・ハ
 ディッドといったアーティストとのコラボ
 レーション、近年の「アーティー カプ
 シュ コレクション」などに加え、アーティ
 スト池田亮司によるデジタルインステ
 レーションも登場する。伝統的なトランク
 製作から村上隆のアート作品にいたる
 まで見どころが満載。

サヴォアフェール(匠の技)と
 イノベーションに対するオマ
 ージュ、時代を超えたさ
 まざまなクリエイター
 たちの才能を体感
 できるこの貴重な機
 会をお見逃しなく。

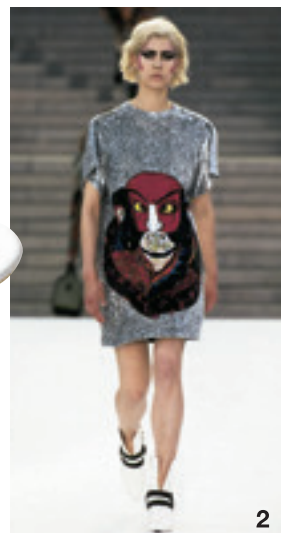


LOUIS VUITTON

この春、話題満載の「ルイ・ヴィトン」で心躍る体験を!

伝統を未来へと繋ぎ、常に革新を続ける「ルイ・ヴィ
 トン」。この春は、銀座並木通り店がついに
 オープンを果たし、原宿では大注目のエキシビショ
 ンが開催中と、ホットな話題が目白押し!

©LOUIS VUITTON



今回のエキシビションで展示されているさまざまなコラボ
 レーション作品の数々。「ルイ・ヴィトン」とアーティストた
 ちとの深い関係がうかがえる。1 マーク・ジェイコブスと村
 上隆のコラボレーションによる「モノグラム・チェリープロ
 ッサム キャンバス」のバビヨン・バッグ(2003年) 2 ニコ
 ラ・ジュエスキエルと山本寛斎のコラボレーションによる、
 2018年クルーズコレクションに登場したシークインドレ
 スのルック 3 吉岡徳仁とのコラボレーションによる「オブ
 ジェ・ノマド コレクション」のプロッサム・スツール(2019年)
 4 銀座並木通り店オープンを記念して十一代目市川海
 老蔵とコラボレーションした化粧ケース「ボワト・ファル
 マージュ」(2020年)



©AS Co., Ltd.



© Peter Marino Architect

shop data
ルイ・ヴィトン 銀座並木通り店
 東京都中央区銀座 7-6-1
 営業時間: 11:00~20:00 不定休
 tel: 0120-20-4106

LE CAFÉ V(ル・カフェ・ヴィー)
 ルイ・ヴィトン 銀座並木通り店 7階
 営業時間: 11:00~20:00



New Open 最上階にカフェも登場! 生まれ変わった銀座並木通り店へ

1981年に、「ルイ・ヴィトン」国内初の直
 営店として誕生した東京の銀座並木通
 り店が、3月20日にオープンした。3年にお
 よぶ建て替えを経て大胆に生まれ変わ
 った店舗は、メゾンの「今」を感じるフレ
 ッシュな魅力に溢れている。

建物は、世界的に著名な建築家、青
 木淳とピーター・マリノによるデザイン。
 揺らめく水面を思わせる外観、螺旋階
 段やアートワークが目を引く空間など、
 思わず目を奪われる演出がちりばめら
 れ、行き交う人々を魅了する。4フロアで

構成された店内には、メゾンの伝統が
 息づく旅行鞆から最新のレザーグッズ、
 アクセサリー、プレタポルテ、シューズ、ウ
 オッチ&ファインジュエリー、フレグランス
 にいたるまで、多彩な製品がラインナップ。
 オープンを記念した限定製品も多数
 登場して見逃さない。

また、最上階には「SUGALABO」オー
 ナーシェフ須賀洋介によるカフェ「LE
 CAFÉ V(ル・カフェ・ヴィー)」がオー
 プン。「ルイ・ヴィトン メゾン 大阪御堂筋」
 に続き「ルイ・ヴィトン」では世界第2号
 店のカフェとなり、早くも話題のスポット
 となっている。

メゾンの世界観が堪能できるこの新
 しい銀座並木通り店に、いち早く足を運
 んで。

Limited Item オープンを記念して アイコニックな 限定製品が登場!

1 グリーンのラッカーの彩りがアクセント。ネックレス「コ
 エ・LVエッジ GM」¥335,500[銀座並木通り店限定発
 売] 2 ケース裏に「NAMIKI LIMITED」の刻印入り。
 時計「タンブル スリム モノグラム ダンテル インディゴ」
 [ステンレススティール×マザー・オブ・パール×サファイア、
 アリゲーターストラップ、ケース径28mm、クォーツ、限定60
 本] ¥1,357,400[銀座並木通り店限定発売] 3 グラ
 ションカラーに袖のフリルが表情豊かなTシャツ ¥123,
 200[銀座並木通り店先行発売] 4 華やかなスパン
 コールに魅せられる。ドレス ¥902,000[銀座並木通り店限
 定発売] 5 ラファイアとレザーコンビのサマーサンダル。靴
 [H7.5] ¥129,800[銀座並木通り店先行発売] 6 キャン
 バス地にネイビーのリリングが上品な「カプシーヌ BB」。
 バッグ [W27×H18×D9] ¥561,000[銀座並木通り
 店限定発売] 7 バッグとお揃いのシックなデザイン。長財
 布 [W20×H11×D2.5] ¥163,900[銀座並木通り店
 限定発売] (すべてルイ・ヴィトン/ルイ・ヴィトン クライ
 アントサービス)





世界的なファッションフォトグラファー、デヴィッド・シムズ氏撮影による、シンプルで力強い今季のキャンペーンビジュアル

+J

ユニクロ「+J」復活後初の春夏 ジル・サンダー氏が再び思いを込めて

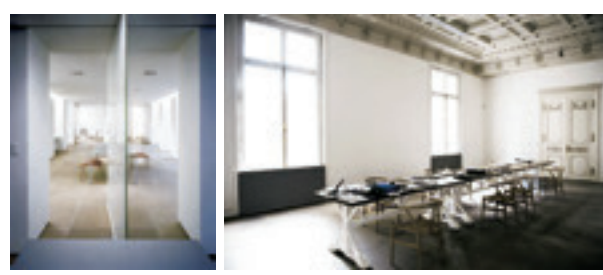
ユニクロとデザイナーのジル・サンダー氏による伝説のコラボレーション「+J」。9年ぶりに復活を遂げて大きな話題を呼んだ。昨年の秋冬に続き、この春、21年春夏コレクションの最新作がフルラインナップで誕生。ジル・サンダー氏へのインタビューとともに、その魅力をご紹介します。

photo: ©UNIQLO

今回のコレクションで表現したいことについて教えてください。
21年春夏では、「静かなオブティズム」を表現することを目指しています。美しくも慎ましく、上品で透明感あるカラーを使っています。クオリティーと、素材のイノベーションも追求し続けたいと思っています。全体のイメージは「洗練」、つまり再生と新たなスタートを思わせるような純粋さです。

「+J」が掲げる、「モダン・ユニフォーム」の考え方を教えてください。
「モダン・ユニフォーム」は、さまざまな場面やあらゆる気候に対応できる、ベーシックな服であるべきです。ただしこれは、デザインするうえでは大きなチャレンジです。現代を生きる人々がひとつになって、解決を必要とするあらゆる問題を含んだ今この瞬間を共有していく。その助けになるような力を持った服でなくてはなりません。

イギリス出身のフォトグラファー、デヴィッド・シムズ氏によって撮影された「+J」の21年春夏キャンペーンの写真は、あなたがディレクションを行なったそうですね。私はデヴィッド・シムズの作品の光の質と明るさが大好きです。デヴィッドと、彼の素晴らしいチームと長い期間一緒に働いてきた中で、私たちはお互いの仕事の質を高め合ってきました。



ドイツ・ハンブルクにあるジル・サンダー氏のオフィス。歴史ある建物とモダンなインテリアが融合する洗練された空間の隅々まで、彼女の美意識が息づいている



Jil Sander @Peter Lindbergh
ジル・サンダー
ドイツ生まれ。女性誌のファッションエディターとしてキャリアをスタートした後、1968年に自身の名を冠したブランドを設立。80年代からミラノコレクションへ参加し、時代を先取ったデザインで国際的な成功を収める。2009年、ユニクロと「+J」コレクションを発表し、新たな服の可能性を切り開く。

今回のキャンペーンの撮影に込められたメッセージやコンセプト、特別な思い入れはどのようなものでしょうか。
今回の撮影には、私たちがいずれパンデミックを克服するであろうということ、そしてパンデミックが起こる以前よりも、私たちがより賢明な判断や対処ができるようになっているのではないかとという楽観的な考えが密かに込められています。スタイルはレイヤリングで見せることによってモダンさと軽快さを強調。洗練さと新しいスタートや再生といったコレクションのテーマをこのキャンペーンで表現しました。

モデルのキャストについて教えてください。
キャストに関しては、モデルそれぞれの個性やカリスマ性、知性、そして人の興味をひきつける顔立ちかということを重要視しました。私にとって大切なのは、メッセージとの調和と、キャストたちの交流の中で生まれてくるエネルギーです。「+J」は新しい種類のグローバルユニフォームを提示していく一方で、それぞれの人が違った解釈で着ることができるとにも気づいてほしいと思っています。

あなたが現在まで、ファッションで多くの人の心を掴むことができたのはなぜですか。
ただ単に、「着る人に幸せと強さをもたらす服を作る」というビジョンを一貫して追い続けてきたからではないでしょうか。また、無駄を排除するという点については、社会の流れの先を行っていたかも知れません。そして、クオリティーの追求、洗練された控えめな表現、立体的なフォルム、革新的な素材といった要素が合わさり、多くの課題を抱える現代社会において、まさに「今に相応しい」と感じられる、時代のニーズに応えるデザインを生み出してきたのだと思います。

ぜひ、ヘルシーであり続けるためには？
ポジティブであること。自分のクリエイティブな夢をためらわずに実現していくことです。

Dior Maison

テーブルをシックに彩る 「トワルドゥ ジュイ」の新色が登場

1947年の「ディオール」創設当時、ブティックの壁面を飾っていたアイコニックなテキスタイルを再解釈した「トワルドゥ ジュイ」コレクションにこの春、新色のグレーが仲間入り。プレートやカトラリーの他、チェアやステーションナリーグッズなども揃う充実のラインナップ。

この発表に合わせて、「ディオール メゾン」のアーティスティック ディレクターを務めるコーデリアドゥ・カステラヌの自宅で行われたフォトシューティングが先披露された。「トワルドゥ ジュイ」でコーディネートした夢のように美しいテーブルセッティングをヒントに、おうち時間を優雅に演出してみよう。



2017年から「ディオール メゾン」、「ヘビー ディオール」のアーティスティック ディレクターを務めるコーデリアドゥ・カステラヌ。日々の暮らしとおもてなしを大切にされる彼女ならではの自宅のテーブルセッティングには、幼少期から磨かれたセンスが凝縮されている。
マグカップ [W7.5×H9.5] ¥35,750 プレート(左から) [W31] ¥20,350 [W27] ¥17,600 (すべてディオール メゾン/クリスチャン ディオール)

Saint Laurent

パリのコンセプトストア限定コレクションが日本初上陸

パリにある「サンローラン」のコンセプトストア、「サンローラン リヴ・ド・ロワット」限定で展開されていたホームコレクションが、表参道店で販売をスタート！2019年6月8日にパリのサントノール通りにオープンした「サンローラン リヴ・ド・ロワット」は、クリエイティブ・ディレクターであるアンソニー・ヴァカレロがキュレーターとなり、彼のイメージやアイデア、ライフスタイルなど「サンローラン」の世界観を表現する空間。そこで展開されているスケートボードやダンベル、「バカラ」や「バング&オルフセン」とのコラボレーションアイテムなどが表参道店に揃う。スペシャルなアイテムを手に入れて、洗練されたライフスタイルを完成させて。



グラス(4脚セット) ¥111,100 ダンベル ¥167,200 スピーカー ¥66,000 ペーパーウェイト ¥42,900 [すべて表参道店限定発売] (すべてサンローラン バイ アンソニー・ヴァカレロ/サンローラン クライアントサービス)

GRIMA LONDON

スタイリッシュで肌にも優しい!「グリマ・ロンドン」の春色ウォッチ

明るい色をまといたくなる春の季節が到来。手元に添えるだけで、装いが瞬時に華やぐ「グリマ・ロンドン」のウォッチは、今の季節にぴったりのラインナップが勢揃いしている。イタリア貴族出身のデザイナー、フィリップ・グリマが生み出す英国のファッションウォッチブランド「グリマ・ロンドン」は、世界中のセレブリティや著名人にも愛用者が多く、日本には2017年に上陸。楕円形を描く愛らしいフォルムにスワロフスキーのクリスタルが煌めく、独創的なデザインのウォッチでファンを増やし続けている。



Marble調のアイボリーカラーで彩られた天然樹脂のボディに、ロイヤルブルー、シャンパン、クリアのクリスタルストーンを贅沢にあしらひ、ベルトは型押しで大人っぽい仕上がりに。カジュアルなシーンから華やかな場面までどんなシチュエーションでも活躍する数量限定モデル。時計「ミニカプリア」リファインメント「アイボリー」 ¥29,700 [数量限定] (グリマ・ロンドン/グリマ・ロンドン銀座店)

ボディは選び抜かれた天然樹脂で作られており、上品な楕円形を作るのに試行錯誤を重ね、完成するまでに5年を要したという。少しずつ表情の違う天然樹脂の美しさを生かしながら、手作業で丁寧に埋め込まれたスワロフスキーのストーンがリキスな輝きを添えている。肌への優しさにもこだわり、肌と接する裏蓋には樹脂を使用しているため、金属アレルギーの人が安心して身につけられるのも大きな魅力の一つ。軽くてフィット感に優れ、毎日つけていてもストレスフリーなのがうれしい。文字盤やベルトの色は、シックなモノトーンから優しいパステル、アクセントに最適なヴィヴィッドカラーまで多彩なバリエーションが揃う。好きな色のベルトを選んでカスタマイズもできるため、いくつもコレクションして、毎日洋服を着替えるように、コーディネートや気分に合わせて楽しむのもおすすめ。今季は、明るい日差しに溶け込むようなアイボリーカラーの数量限定モデルも登場。手元のおしゃれで気軽に、春らしく気分をアップデートしてみよう。



GRIMA LONDON 銀座店
東京都中央区銀座1-6-11
営業時間: 11:00~18:00
水曜定休
tel: 03-3562-8880

イタリア屈指のリゾート、カプリ島の輝く海をイメージし、天然樹脂のボディに溶け込むように、美しい輝きを放つVカットのスワロフスキークリスタルをちりばめたアイコンコレクション。豊富なカラーバリエーションからお気に入りの1点に出会って。時計「ミニカプリ」各 ¥29,700 (すべてグリマ・ロンドン/グリマ・ロンドン銀座店)

21年春夏8月23日〜9月22日★ゆっくりする時。最高の幸せへ向かうために、休息をとりましょう。質のいい睡眠。ゆったりとしたバスタイム。趣味の時間に没頭して。休息はあなたに新しい閃きをもたらします。

Like Bare Skin

まるで「肌」になる。着心地のいいベースメイク

Beauty

adviser: 倉田真由美
photos: SHINMEI (SEPT) / composition & text: Mayumi Kurata

つけたそばから肌と一体化し、メイクしていることを忘れる心地よさ。それでいて、素肌そのものを強く美しくしたかのような仕上がりが。私たちが望むことをすべて叶えてくれるファンデーションと下地が、今年も続々登場!



社会は変わり、ベースメイクもスキンケアのように変化した

長引くマスク生活により、メイクに求められるものが変わってきた。完璧に作り上げた仕上がりがより、ストレスフリーにつけていられる快適さやトリートメント効果、蒸れや汗による崩れにくさなど、まるで下地やファンデーションが、そのまま肌になるかのようにさりげなく、素肌そのものが美しいと見紛うような仕上がりが。加えて、紫外線や花粉、大気汚染物質、ウイルスなど、肌を感ずす外的ストレスに対する防御力も不可欠。変わりゆく社会にすくすく順応しながら、そのときのベストを尽くす——まずはベースメイクから見直してみよう。



- 1.96%が天然由来成分というナチュラル処方で、高いカバー力とロングラスティング効果を実現。テカリ、メイク崩れも防ぐ。レソンスエル ハイ パーフェクション SPF15 全10色 各30mL ¥7,700 / ゲラン
- 2.純粋レチノールによる「しわ改善」で承認を得たクリーム版のコンシーラー。エリクシール シュベリエル エンリッチド リンクルクリーム +カバー [医薬部外品] 12g ¥5,390 (限定品) / 資生堂
- 3.美容液に引けを取らないエイジングケア効果が秀逸。使い続けるほどにコラーゲンの生成を促し、内側からハリとツヤをアップ。シスレイアル タン(ファンデーション) 全7色 各30mL ¥17,600 / シスレージャパン
- 4.シャネルの最高峰スキンケアから誕生したセラム ファンデーション。希少なヴァニラオイルが叶える、うっとりするような心地よさ。サブリーマージュ レサンスドゥ タン(ブラシ付) 全6色 各40mL ¥19,250 / シャネル

forte_forte

ロマンティックに春を謳歌する「フォルテ フォルテ」の最新作

イタリアンメイドならではの色使いと繊細なハンドクラフトで人気の「フォルテ フォルテ」から、春色に染まった新作コレクションが到着。心地よい風を感じる季節に纏いたい、旬のアイテムをいち早く手に入れて。

photos: Asa Sato (still) / text: Asaka Ikeda



グリーンメイエローの爽やかなコーディネートは、大胆に描かれた花柄とラメが上品なアクセント。コート¥121,000 ブラウス¥59,400 パンツ¥57,200 (すべてフォルテ フォルテ / コロネット)

- 1.リラクシングムード漂うコットン素材のロングドレスは、首元と袖のクロシェティールや光沢感のあるローペリットでロマンティックな雰囲気。ドレス¥107,800
- 2.ジャカードにベルベットでアイリスを描き出したチェスターコート。裾の切り替えに遊び心を感じて。コート¥163,900
- 3.軽やかに着こなしたい、フレアシルエットのスタンドカラーブラウス。ブラウス¥58,300
- 4.大振りかつ華奢なフープピアスは、ゴールドのラフなフォルムが印象的。ピアス¥29,700
- 5.ドトップのようにカラフルなリングが、スタイリングに華を添えて。リング(3個) ¥48,400
- 6.ウエスト部分と後ろのポケットの生地を切り替えることで、メリハリをつけた1着。ダークカラーのフラワーが程よいモード感を演出。パンツ¥86,900 [伊勢丹新宿店限定発売]
- 7.ほのかにチェック柄が透けるトランスベアレントなラップドレスは、肌触り抜群のコットン×シルク素材。ドレス¥107,800 [GINZA SIX店限定発売]
- 8.ミルクレーンなオレンジが目を引き、パンツは、美脚効果のあるセンタープレスがポイント。パンツ¥52,800
- 9.光沢のあるシルクのAラインスカートに、ハンドペイントで描いた百合をちりばめて。スカート¥82,500 (すべてフォルテ フォルテ / コロネット)

Shop List

伊勢丹新宿店
東京都新宿区3-14-1 伊勢丹新宿店 本館3F
tel: 03-6384-2404
GINZA SIX店
東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX3F
tel: 03-3572-1535
阪急うめだ本店
大阪府大阪市北区角田町8-7 阪急うめだ本店6F プレミアム
tel: 06-6313-9297

肌色だって自由に遊んでもいい!

ファンデーション=ベージュとは限らない。カバーするのではなく、足りない色味を補い、ニュアンスや血色感を足す、という新発想がユニーク。

6. 塗っていることを忘れてしまうほど軽い薄膜ヴェールで、自分の肌色を生かしながら、素肌のトーンをアップ。下地もパウダーもいらない。RMK カラーファンデーション O1/O2/O3 SPF9 PA+ O4/O5 SPF6 PA+ 全5色 各20mL ¥4,950/RMK Division
7. 点描画の効果と色立体視の効果に着目したカラートリック設計。厚塗り感のない、ふわっと発光するような透明感を実現。ディエム クルール カラーブレンドファンデーション SPF15 PA++ 全4色 各¥5,830、別売リケース(ハーフ付き) ¥1,320/ポーラ



あらゆるものから守り抜く。それが、正義!

紫外線に加え、スマートフォンなどから発せられるブルーライトや、大気中に漂っているほこりや花粉、汚染物質などから肌を守ることが、今年はとりわけ重要に。

12. 植物由来のケア成分が72%以上。圧倒的な素肌感で、あらゆる外的刺激から肌を保護する。UVプラス 5P モイスチャライジング マルチ デイ スクリーン ローズ SPF50 PA+++ 30mL ¥6,050/クラランス
13. ホルモン的一种、メラトニンの減少により、私たちが持つ「セルフシールド機能」が低下することに着目。肌自体を日焼けしにくい状態に導く。ホワイトショット スキンプロテクター DX SPF50+ PA++++ 45g ¥6,600(4/22発売)/ポーラ
14. 外的刺激により肌荒れしやすいデリケートな肌のための日中用保護美容液。紫外線吸収剤フリーのさらやかな使用感。d プログラム アレルバリア エッセンスN SPF50+ PA+++ 40mL ¥3,300/資生堂インターナショナル



下地を仕込んで“映える肌”に

もし肌のトーンや質感をカバーしたいと思うなら、それは下地です。下地でトーンアップしてなめらかに整えておけば、ファンデーションはごく薄くで十分。

8. くすみをカバーし、生命感と透明感、血色感を吹き込むフレッシュなカラー。美容液のようにリッチな保湿感もある。THREE アドバンスドエシリアルスモースオベレーター プライマー 30mL ¥6,050/THREE
9. 柔らかなピンクに多彩な色のパールをプラス。内側から発光するようなツヤと血色感をもたらす。ナチュラルにカバー。コスメデコルテ ロージー グロウライザー SPF20 PA++ 30mL ¥3,520/コスメデコルテ

Withマスクでも崩れない。崩さない

蒸れにより、いつも以上にテカリや汗、皮脂が気になるこれからの季節。驚異のメイク持ちを実現する下地により、ベースメイクの美しさが格段に上がる。

10. 24時間、肌を潤いで満たし、輝くような明るい印象をキープ。色ムラや凹凸を補正し、完成度の高い肌に。ディオールスキンフォーエヴァー スキンヴェール SPF20 PA++ ¥6,380/バルファンクリスチャンディオール
11. さらっとなじんで13時間、テカリや皮脂浮き、ヨレのない化粧持ちをキープ。スキンケア効果で快適さもキープ。マキアージュドラマティックスキンセンサーベース EX UV+ SPF50+ PA+++ 全2種 各25mL ¥2,860(編集部調べ)/資生堂



1. みずみずしさを内包した薄膜が、しなやかにフィット。光を拡散・反射して透明感をめぐらせ、毛穴や凹凸を光で飛ばす。ルナソル ライトスプレッドクリームライク SPF28 PA++ 全6色 各30mL ¥6,050/カネボウ化粧品
2. ブランドの美の概念。ナチュラルでフローレスな肌を体験。エモリエントオイルと水分を多く含む、軽やかなウォーターベース。ネオマド ファンデーション 全6色 各35mL ¥6,820/ジョルジオ アルマーニ ビューティ
3. 漢方でおなじみの冬虫夏草を配合。しっとりとした仕上がりが簡単に得られ、落とした後も肌がふっくら。インテンジブ スキン セラム クッション ファンデーション SPF40 PA++++ 全6色 各¥7,700(3/26発売)/ボビイ ブラウン
4. アリズムに着想を得たレフ効果とソフトフォーカス効果で、潤いに満ちたやさしい光が灯るような肌を実現。アリズム・リプルスキンケアリング・グロウ 全12色 各30mL ¥7,150/バルファム ジェンシイ
5. パウダリーとは思えない透明感とツヤ感。肌に吸いつくようにのび広がり、磨き上げたようなツヤ肌に仕立てる。SUQUU グロウ パウダー ファンデーション 全9色 レフィル 各¥6,050、専用コンパクト ¥1,650/SUQUU

何もつけていないみたい!“ツヤのある素肌”になりすます薄膜

生きた肌としての温もりや生命感、みずみずしいツヤによって決まる。ツヤさえあれば、多少の色ムラやシワがあったとしても、魅力的に見えるもの。けれど、年齢とともに肌の潤いやハリが失われ、ツヤのない乾いた印象になりがち。今年の新作ファンデたちは、そんな杞憂を吹き飛ばすような仕上がりに。軽やかな超薄膜でしなやかにフィットし、本物のツヤ肌になりすますかのよう。カジュアルな装いの際にも慮せずにつけられるツヤ系ファンデは、大人の肌にイキイキとした若々しさをもたらしてくれる。

蠍座 scorpio 11月23日〜11月21日★自分を満たす時。我慢は手放しやりたいてをやりましょう。自分の望みに素直になり、あなた自身にあなたらしい気持ちで接しましょう。自分の愛は現実へと反映されていきます。

射手座 sagittarius 11月22日〜12月21日★自分を祝福する時。たくさんの祝福も受け取ります。あなたが大切な人を受け、愛しく思うように、あなたを愛して、愛しく思う人がいます。どんなあなたでも愛されるのです。

新進画家が描く、自然と人のつながり

interview & text: Saya Tsukahara

山下紘加



1991年、兵庫県生まれ。2017年、ニューヨークのスクール・オブ・ビジュアル・アーツでBFA(美術学士号)、19年、ニュージャージー州ラトガース大学のメイン・クロス・スクール・オブ・アーツでMFA(美術学修士号)を取得。Hiroka Yamashita ©THE CLUB

山下紘加はニューヨークを拠点に活動した後、2019年に日本へ帰国。現在は岡山県で制作を行う。アメリカ、日本、台湾など、各地で展覧会を開催し、今注目を集めている若手作家だ。山下がアートに関心を抱いたのは、18歳で渡米してからのことだった。

「アメリカで、李禹煥(リ・ウファン)、草間彌生、イサム・ノグチなど、日本と関わりの深い作家の展示を見ました。その時、『すばらしい作品を見た時に湧き上がる気持ちって、何なんだろ。そういう感情をもたらす作品には共通点があるのだからか』と思ったんです。それを知りたいという気持ちから、大学でファインアートを専攻しました。直感的に、死ぬまで問い続けられるものだと思ったのです」

大学で作家としての土台を養う。西洋



Hiroka Yamashita, 真昼の塩田 Midday Saltpan, 2021 Acrylic and oil on canvas, 145.5x227.3cm ©THE CLUB Photo by Hiroaki Ikeda

画からスタートした山下にとって、日本画は新鮮に映った。

「西洋画の伝統的な空間表現は透視図法で、遠くのもの画面の一点の点に消えていきます。一方、日本画では、近くのもの画面の下、遠くのもの画面の上に描かれることが多いのです。絵巻物には、空から見たような構図もある。こういった日本特有のフラットな画面構成を、西洋画的な画面構成の中に埋め込んだりして描いています」

自分のオリジナリティを見つける過程では、「おくのほそ道」に影響を受けた。

「私が経験してきたアートの世界では、社会的、政治的な問題やアイデンティティの違いを文脈にした作品が力を持っています。でも私は、個人の感情や日常の出来事、普遍的な命の営みを描きたかったのです。俳句は、感情を自然に例えて表現しますよね。松尾芭蕉は、俳諧の境地や人生観を自然の中に見つけている。自分の表現したいものを肯定してくれているよう

1991年生まれ画家・山下紘加は、西洋画と日本画、両方の手法を取り入れ、自然と人の姿を独自に表現する。個展を開催する今、創作について聞いた。



Hiroka Yamashita, 今、生まれた Now It's Born, 2019 Acrylic and oil on canvas, 148.2x222.8cm ©THE CLUB Photo by Hiroaki Ikeda

に感じました」

日本的な`Ephemerality'(儚さ)を描きたいという。

「西洋には、満月や満開の花がもっと美しいという価値観があります。日本では、月の満ち欠けや散り際の花など、完全ではないものや移ろいに美を見いだす。そういう一瞬や、誰かの人生における一瞬に思いを寄せたいと思います」

山下の描く絵の中で、人間は幻想的な自然の風景に溶け込んでいる。

「自然を表現している人間を描きたい。自然の優しさや厳しさは誰に対しても平等で、物質的な恵みやさまざまな感情、経験を与えてくれます。私たちの母体はやはり自然。自然のように人間も生きることができたら、誰かに対して行動できたら、と思って描いています」

GINZA SIXで開催する個展では、「地球が死ぬ時に走馬灯のように思い出すシーン」をイメージして、空間を構成して

いる。神秘的ながらどこか懐かしい、作品世界に触れてみてはいかかだろうか。

「コスモスは思い出した」
会期: 3月27日(土)~5月7日(金)
会場: THE CLUB [GINZA SIX 6F 銀座 蔦屋書店]
予約: <https://airsrv.net/theclub/calendar>
<http://theclub.tokyo/>



Hiroka Yamashita, シャインの収穫 Harvest of Shine, 2021 Oil on linen, 116.7x91cm ©THE CLUB Photo by Hiroaki Ikeda

水瓶座aquarius 1月20日~2月18日★自分を称賛する時。学歴や実績などがあなたの価値を表すものではないと気づけます。コソコソ続けてきたこと、今の自分ができることに気づき、過去の自分からキョフトを受け取れます。魚座pisces 2月19日~3月20日★愛する時。愛とは肯定、自分をそして愛する人を心から愛しましょう。前向きなエネルギーは活性化し、あなた自身も、そしてあなたの周りにも、その愛は伝播していきます。

領域を超える、ライゾマティクスの現在地

interview & text: Saya Tsukahara

ライゾマティクスは、ビョーク、スクエアプッシャー、Perfume、野村萬斎をはじめとするアーティストとのコラボレーションや、データを視覚化するプロジェクトなど、多様な活動を通して、テクノロジーと表現の新しい可能性を追求してきた。東京都現代美術館で開催中の展覧会を企画した長谷川祐子参事に、ライゾマティクスの歩みと本展の見どころを聞いた。

「ライゾマティクスは、アーティスト、デザイナー、ビデオグラファー、エンジニア、プログラマーといったスペシャリストが揃い、アイデアから実装までを自分たちで実現できる集団です。多岐にわたるコンテンツ制作の依頼を活用しながらテクノロジーの研究開発を進め、独自の方法論を発展させて、組織としても拡大してきました」

「ライゾマティクス」の名前の由来は「リゾーム(地下茎)」。異質な同士の、階層的な上下関係ではなく、水平に結びついていくさまを意味している。彼らはメディアアートで培った知見や研究成果を、広告、エンターテインメント、建築、都市開発など、さまざまな領域につなげていく。

多くの人にその名が知られることになったのは、2010年から携わっているPerfumeのライブ演出だろう。

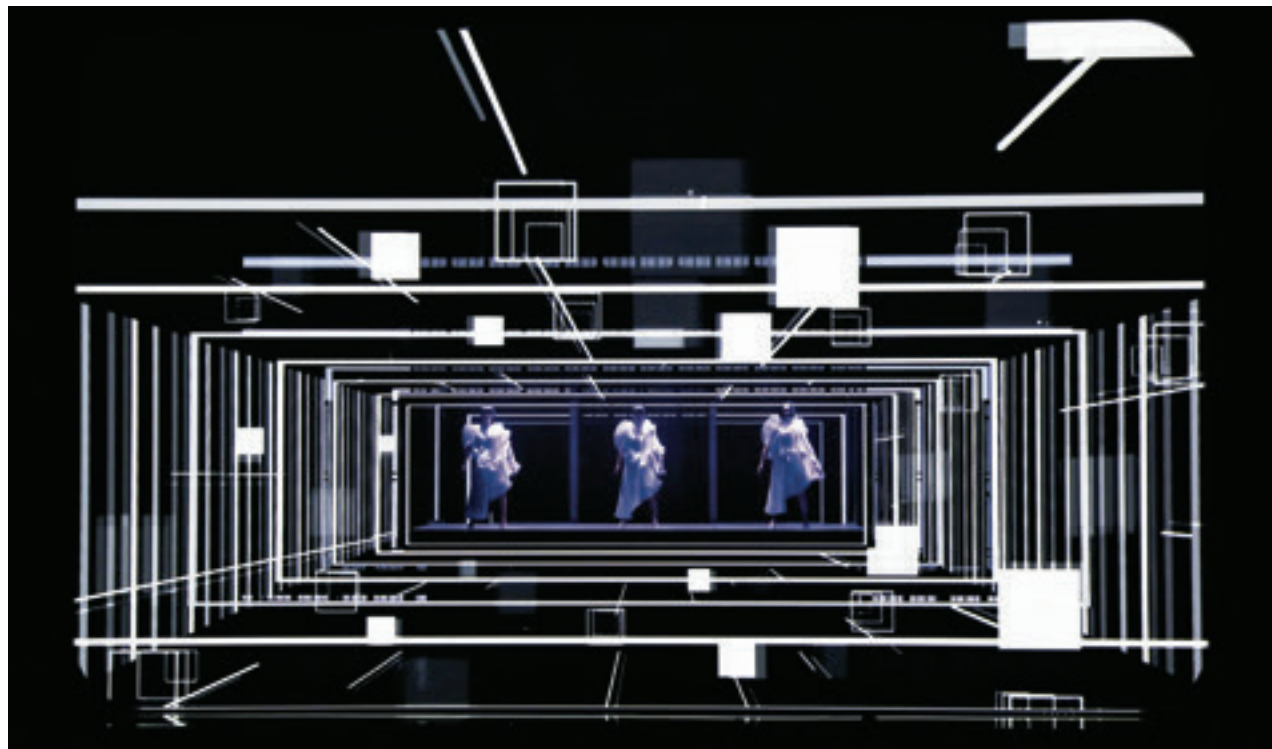
「3Dスキャンデータのシステム開発により、ステージ上でパフォーマンスする人間の動きと照明や舞台効果をシンクロさせたり、アプリを制作し、ユーザーのデータを映像演出に反映させたりするなど、多角的な試みを行っています。テクノロジーによって、未知の人間のイメージを作り出しているのです。Perfumeのライブというエンターテインメントと、ライゾマティクスのアート表現が重なり合っているといえるでしょう」

データを視覚化するプロジェクトにも数多く取り組んできた。

Photo by Santiago Felipe/Getty Images



2016年、日本科学未来館で開催されたビョーク(写真左)のパフォーマンスで、AR/VRの演出、および技術開発を担当したMaking of Björk Digital ©Santiago Felipe



Perfume(写真右下)の活動の中で作られた映像、音声、振付、歌詞のデータを解析し、新たな視点から再構築したコンセプトライブ。2020年に映画化、劇場公開されたPerfume(Reframe 2019) 2019年 撮影:上山陽介 [参考図版]

「東日本大震災の時には、Hondaのインターナビが震災直後から移動支援を目的に公開した『通行実績情報マップ』をもとに、『CONNECTING LIFELINES』を制作しました。震災後すぐに公開され、避難者や物資を運ぶ人たちにとても役立つのです。ほかにも、東証一部での株式売買データを音と映像に変換した『traders』、ビットコインの仕組みを利用した『chains』というインストールで、金融取引の世界を可視化しました。私たちが覆う情報環境はあまりにも大きく、感覚的に捉えることはできません。ヴィジュアルズすることでリアリティをもたらし、問題提起するという重要な作業をしていると思います」

活動の根幹にあるのは、テクノロジーを駆使して、感情や感性に働きかけること。今、ライゾマティクスが特に関心を抱いているのは、オンラインにおけるコミュニケー

ションの未来だ。

「オンライン上でコミュニケーションの臨場感をいかに維持できるか、また、ソーシャルディスタンスの中で失われがちな感覚をいかに補うかということを彼らは考えています。自分たちの技術によって今起きている問題をどう解決し、未来に進めていくか。そういった意識を常に持ち、クリエーター、ビットコインの仕組みを利用した『chains』というインストールで、金融取引の世界を可視化しました。私たちが覆う情報環境はあまりにも大きく、感覚的に捉えることはできません。ヴィジュアルズすることでリアリティをもたらし、問題提起するという重要な作業をしていると思います」

本展は、新型コロナウイルスの感染が広がる社会状況の中で企画された。オフライン、オンラインの両方で鑑賞できる試みも特徴だ。

「会場では目の前のロボットに連動して変わっていく映像が見られ、オンラインではAR(拡張現実)の技術によりダンサーが踊る映像を見られるというように、それぞれ異なる楽しみ方もあります。ライゾマティクスがメディアアートやヴィジュアルゼーションの歴史に残してきた足跡を示



Photo by Frazer Harrison/Getty Images for Coachella

すアーカイブとともに、コロナ以降の新作を見られる個展です」

デジタルとアナログ、ヴァーチャルとフィジカルを行き来し、新たな視点を提示してきたライゾマティクス。変化する「現在」とシンクロした最新プロジェクトを、美術館で、そしてオンラインで目撃したい。

長谷川祐子
キュレーター、東京都現代美術館参事、東京藝術大学大学院教授。4月から金沢21世紀美術館の新館長に就任予定。数多くの展覧会を手がけてきたほか、ヴェネツィア・ビエンナーレ、モスクワ国際現代美術ビエンナーレなど、国際展でのキュレーションも多数。著書に「破壊し、と彼女たちは言うー柔かに境界を横断する女性アーティストたち」(東京藝術大学出版会)がある。



真鍋大度
Rhizomatiks主宰。
アーティスト、インタラクティブデザイナー、プログラマー、DJ。
Photographer: Akinori Ito
Stylist: Miter Shinichi
Hair and makeup: Asami Nemoto

石橋素
Rhizomatiks主宰。
アーティスト、エンジニア。

展覧会情報
「ライゾマティクス_マルチプレックス」
会期: ~6月20日(日)
会場: 東京都現代美術館
<https://www.mot-art-museum.jp/exhibitions/rhizomatiks/>

shop list 掲載商品のお問い合わせ先

ア RMK Division tel: 0120-988-271
ヴァレンティノ インフォメーションデスク tel: 03-6384-3512
ウール商会 tel: 03-5771-3513
エルクワールお客さま窓口 tel: 0120-770-933
エルメスジポボン tel: 03-3569-3300
カネボウ化粧品 tel: 0120-5118-520
クラランス tel: 03-3470-8545
クリスチャン ディオール tel: 0120-02-1947
クリスチャンルブタン ジャパン tel: 03-6804-2855
クロエ カスタマーレレーション tel: 03-4335-1750

marie claire 4月21日刊行です

グランお客窓口 tel: 0120-140-677
ケンゾーパリ ジャパン tel: 03-5410-7153
コスメデコルテ tel: 0120-763-325
サンローラン クライアントサービス tel: 0120-95-2746
シスレージャパン tel: 03-5771-6217
資生堂インターナショナルお客さま窓口 tel: 0120-81-4710
ジャネル カスタマーケア tel: 0120-625-519
ジョルジオ アルマーニ ビューティ tel: 0120-292-999
SUQUU tel: 0120-988-761
ステラ マッカートニー カスタマーサービス tel: 03-4579-6139

THREE tel: 0120-898-003
セリーヌ ジャパン tel: 03-5414-1401
ドルチェ&ガッバーナ ジャパン tel: 03-6419-2220
パルパリージャパン tel: 0066-33-812819
バルファム ジャパンシイ(LVMHフレグランスブランド) tel: 03-3264-3941
パルファンクリスチャンディオール tel: 03-3239-0618
パレンシアガ クライアントサービス tel: 0120-992-136
フェンディ ジャパン tel: 03-3514-6187
ブラダ クライアントサービス tel: 0120-45-1913

ボビーブラウン tel: 0570-003-770
ポーお客さま相談室 tel: 0120-117111
マキアージュお客さま窓口 tel: 0120-456-226
ユニクロ tel: 0120-170-296
ルイ・ヴィトン クライアントサービス tel: 0120-00-1854
ロレペ ジャパン クライアントサービス tel: 03-6215-6116
ロンジン tel: 03-6254-7350

星座座capricorn 12月22日~1月19日★純粋な気持ちに自覚める時。それはあなたの持つ豊かさです。日常の中にある好きなこと、やりたいことを選択していきましょう。情熱を行動に移し、安定した豊かさを手にしていきます。